



輝かしい新年を迎えて

今金町農業協同組合 代表理事組合長

小田島 親守

新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃よりJA今金町の事業運営にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、ロシアとウクライナの紛争が依然として長期化する中、エネルギー価格や農産物供給の不安定化が続き、気候変動の影響も加わることで、世界的に食料安全保障への関心が一層高まる年となりました。国内においても、物価高や労働力不足が深刻化するなか食料安全保障について国民的議論と理解の醸成が必要不可欠であり、JAグループ北海道としても「食べよう、話そう、体験しよう」を合言葉に「農業(AGRI)からさまざまな行動(ACTION)を起し、北海道および全国の皆様に農業や食への理解を深めていただく(REACTION)」ことを目的とした取り組み「アグリアクション北海道」を推進しているところです。

本町農業は、昨年は夏場に長雨が続きことがあったものの総じて穏やかな天候に

恵まれ、主要作物は概ね順調に生育しました。価格については、需給バランス等の影響から米価が大幅に上昇しましたが、他の品目も含め安定供給と合わせて再生産可能な適正価格の形成が望まれるところです。一方で、酪農畜産は飼料価格の高止まりや和牛枝肉相場の低迷など、厳しい状況が続いています。

政府は昨年、「食料・農業・農村基本法」の改正を行い、食料安全保障の強化や持続可能な農業の実現に向けた新たな方針を打ち出しました。JAグループ北海道においても食料・自給飼料等の安定生産・供給と農業における環境負荷低減の両立を図り、再生産可能な農業所得を安定的に確保するため「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立に関する政策提案」を掲げ農政活動を展開しているところです。

当JAにおいても、令和7年度は第13次中期経営計画の最終年であり、計画の柱である「農業所得の増大・生産基盤の確立」「地域における生活基盤の安定」

「人づくり(組合員、役職員)」「JAの健全な財務体質の確立、JA収支の安定確保」「JAに対する地域住民理解の醸成」の5つの基本方針の着実な前進に引き続き取り組んで参ります。

地域農業の未来を拓くためには、組合員の皆様の積極的なJA運営への参画が不可欠です。対話を重ねながら、JAと組合員そして地域が一体となって課題に取り組むことが、より良い地域農業の確立につながることを確信しています。本年も引き続き、懇談会などを通じて多くのご意見をいただきたくお願い申し上げます。

結びになりますが、本年は巳年です。巳には「始まり」や「新しい成長」の意味が込められています。地域農業とJA今金町が一層発展する年となりますように、そして、組合員の皆様とそのご家族が健康で実り多い一年をお過ごしになれることを心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

謹んで新春のお慶びを申し上げます



令和七年元旦

代表理事組合長

小田島 親守

副組合長 仁木 明

常務理事 大場 倫夫

理事 境田 哲哉

理事 成田 正春

理事 本塚 晴看

理事 中山 一浩

信用専任担当理事

荒川 英也

代表監事 水口 仁

監事 谷崎 敏之

員外監事 船木 実

管理部長 安齋 保

経済部長 工藤 裕之

営農部長 佐藤 貴弘